

科目責任者 小山 清隆 (副学長)

■ 教育目的

薬学は時代の変遷とともに受け持つ分野が拡大している。また、社会の要請に従って変化して行く。

薬学は『くすり』についての総合科学である。新しい『くすり』をつくる創薬科学、『くすり』の作用と生体の機能を解き明かす薬学独自の生命科学、そして病気の予防、保健などに深いかかわりをもつ衛生薬学、さらに医療の現場で『くすり』を適性に使用することを学ぶ医療薬学に至るまで、薬学は幅広く奥の深いものである。

本講義は薬学部に入學した学生に、「薬学とは何か」を伝える導入教育である。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、YD-②、YD-⑤】

■ 学習到達目標

「薬学とは何か」を命題としてもち、充実した学生生活を送るために、薬学の目指す学問領域、薬剤師および薬学研究者の職域とその任務について概要を理解し、体験（見学）を通して薬学へのモチベーションを高める。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：授業内容のキーワードを調べてみる。(30分以上)

復習：講義で興味を持ったことや気になったことなどをインターネットなどで積極的に調べ、「薬学とは何か」を探り出してみよう。(30分以上)

■ 授業内容

早期体験学習では1～2日をかけて施設を訪問見学し、訪問先でグループワーク、ディスカッションを行うことがあり、それらの体験をもとにレポートを作成するとともに、大学で学生代表がプレゼンテーションを実施する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	薬学とは何か：薬学教育	大学で何を学ぶか、薬学と薬剤師	A(1)-①②
2	薬学の新しい動き	薬学の歴史、医薬品の役割、薬剤師の使命	A(1)-①②
3	早期体験学習	オリエンテーション	A(1)-①②④ A(4)-① B(4)-①
4	薬剤師の現在と目指す未来	薬剤師とは、医薬分業とは、医療とは、目指す薬剤師像	A(1)-③④ A(2)-①②③④
5	薬学と社会	薬学を取り巻く法律と制度、社会保障制度	B(1)-① B(2)-①②③ B(3)-①②
6	創薬の現在、過去、未来	医薬品とは何か、近代創薬の歴史、医薬品の開発と創薬研究の最前線	A(1)-③④ A(2)-①②③④
7	製薬企業における薬剤師	製薬企業の業種、特に薬剤師が活躍している業種	A(1)-③④ A(2)-①②③④
8	健康薬学 1	麻薬等薬物問題と麻薬取締官の役割	D2(1)-①
9	健康薬学 2	生活の中の食品衛生	D1(3)-①②③ D2(1)-①②③
10	薬の効果と個人差 薬の相互作用	薬の体内運命と成長・加齢・疾病の関係、薬の作用メカニズム、薬の作用が他の薬によって変わる理由	E1(1)-①、E4
11	医療と薬剤師 1	多様な社会ニーズに応える将来の薬剤師のあり方	E1(1)-①、E4
12	医療と薬剤師 2	過去の薬害事例の検証 副作用被害の予防・軽減と薬剤師の役割	A(5)-①④ E1(1)-①、E4
13	医療と薬剤師 3	未来を担う小児期医療と薬剤師の役割	B(4)-①②
14	早期体験学習	前期および後期に薬剤師・薬学出身者の活躍する施設を見学し、レポートを作成して発表する	A(1)-①②④ A(3)-①② A(4)-① B(4)-①

■ 授業分担者

No.1、2：石井 啓太郎 No.3：川北 晃司 No.4：石川 洋一 No.5：廣瀬 誠 No.6～8：学外講師
No.9：高野 伊知郎 No.10：花田 和彦 No.11：安 武夫 No.12：学外講師 No.13：石川 洋一

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

授業の出席（30％）、課題レポート（30％）、施設見学・グループ討論の態度（40％）により総合的に評価する。

■ 参考書

『ヒューマニズム・薬学入門』 日本薬学会 編（東京化学同人）

『薬学と社会』 日本薬学会 編（東京化学同人）

『早期臨床体験テキスト』 田口 忠緒 編（ネオメディカル）

『薬学概論』 沢村 良二 編（南山堂）

『薬学概論 改訂第4版』 辰野 高司 他 編（南江堂）

科目一覧

素養科目★薬学入門★薬学への招待（薬学科）（必修）	1
---------------------------------	---